


# 第55期 報告書

平成27年3月1日 ▶ 平成28年2月29日




このたびの平成28年熊本地震により被災された皆様に 謹んでお見舞い申し上げます  
 一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます

株主の皆様へ



**今期も増収増益を達成！ 当期純利益は前期比8.1%増！  
 おかげさまで過去最高を更新しました。**

代表取締役社長 **山西 泰明**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の小売業を取り巻く環境は、緩やかな景気回復が継続する一方で、資本市場は先行き不透明な状況が続き、消費者マインドの低調さや暖冬などの影響もあり、厳しい状況が続きました。

当社グループでは、実行方針である“お客様のために尽くす”のもと、「GMS業界ナンバーワン」を目指して品質・価格ともに競争力のある品揃えの提供に努めました。また、売場の付加価値を高めていくなど、地域一番店の地位をより確固たるものにする取り組みを推進しました。

店舗面では、4年ぶりとなる大型SC「ゆめタウン廿日市」の好調なスタートに加え、小型店「ゆめマートすわの」など4店の新店舗を新設するとともに、「ゆめタウン光の森」など3店舗の大規模増床リニューアルを実施し、展開エリアのドミナント化をより一層前進させました。

さらに広島県の株式会社ユアーズと徳島県の株式会社デイリーマートを連結子会社化し、前期に連結子会社化した株式会社スーパー大栄と株式会社大栄とともに既存店の活性化をはかり、カード戦略の共有化、共同仕入れの拡大、原価交渉力や物流・システム連携などを強化し、流通グループとしての総合力を高めました。

当社グループの中核事業である小売事業では、二極化する消費行動に対応するため、品質・鮮度・安全性が高い商品を値ごろに提供する“いいものを安く”をさらにブラッシュアップし、付加価値の提案及びマスマリットの追及に努めてきました。

また、地域に応じて投入商品や価格設定を見直してより競争力ある商品を投入、月・週単位での販売動向の仮説を立て重点販売商品を提供するなど、常に鮮度が高い楽しい売場を演出することで集客を図り、販売増加に繋がりました。

また既存店の活性化を積極的に実施し、食品などの直営売場を拡張、品揃えを強化するとともに有力テナントへの入れ替えを推進することで店舗競争力を強化しました。

小売周辺事業では、引き続き電子マネー「ゆめか」の利用拡大や新規会員の獲得に努めるとともに、新規連結子会社へのカードシステム導入を推し進めました。地域通貨としての地位を確立していくとともに、利用頻度の向上により「量」から「質」への転換を図り、お客様の利便性向上、レジ業務の生産性改善に努めました。

これらの結果、当社グループでは今期も増収増益を達成し、過去最高を更新しました。

次期については、消費マインドの低迷が継続する一方、賃金の上昇やエネルギー価格の下落に伴う実質所得の拡大が期待されています。当社グループでは、このような環境変化や消費者ニーズの変化を的確にとらえ、これらにきめ細かく対応していくとともに、“いいものを安く”をさらに推進してまいります。

そしてお客様満足をさらに高め、地域ドミナントの更なる拡大・深耕を図っていくことで、経営効率をさらに高め、より一層の企業成長に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を  
 地域になくしてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



## 連結財務ハイライト

### 営業収益

6,687 億円	前年同期比
	115.4 %

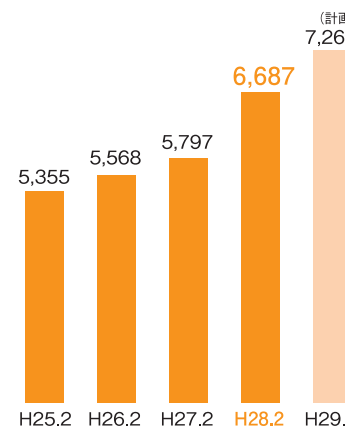
### 経常利益

311.0 億円	前年同期比
	104.5 %

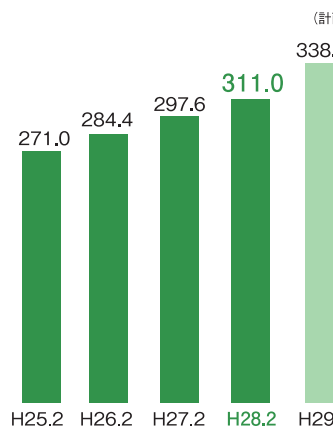
### 当期純利益

187.6 億円	前年同期比
	108.1 %

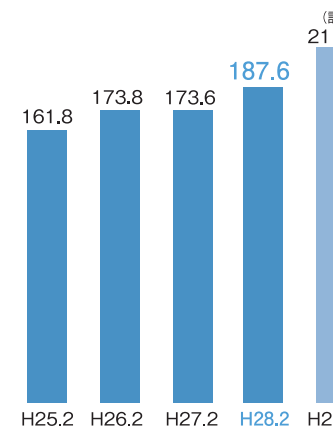
(単位：億円)



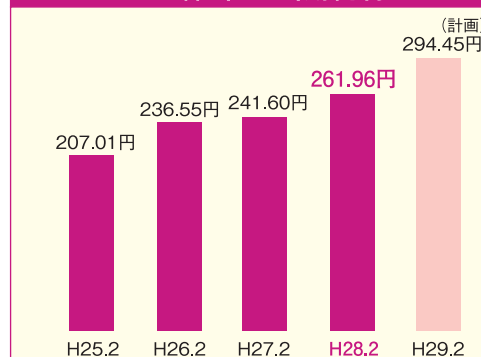
(単位：億円)



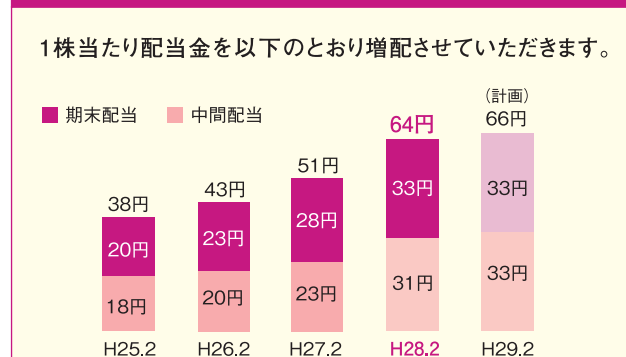
(単位：億円)



### 1株当たり当期純利益



### 1株当たり配当金



店舗戦略 進化し、深化する「youme」を

## 新店と大型増床で地域一番店戦略をさらに推進します。

イズミは店舗戦略において積極的にドミナント化を進めています。

第55期も新店舗として、ゆめタウン廿日市その他、ゆめマートすわのとゆめモール筑後など4店舗をオープン。

また既存店においてもゆめタウン久留米など3店舗の大型増床リニューアルを行いました。

さらに今後も、広島西部SCプロジェクト「LECT(レクト)」をはじめ、新店舗や大型増床をぞくぞくと実現。

1兆円企業へ向けて、店舗力強化を加速させていきます。

### ゆめマートすわの

平成27年11月22日  
OPEN!

### 地域に密着した小商圈型ショッピングセンター

ゆめマートすわのは、西鉄久留米駅から南北に続く国道3号園沿いの住宅街に位置する小商圈型の食品スーパーです。もともと「サニーすわの町店」さまが経営されていた店を地域に欠かせない生活インフラとして当社が引き継いだもので、鮮度にこだわった生鮮食品やお手頃なお惣菜などを中心に、毎日の暮らしに便利で「いいものが安い」店を目指しています。



店舗概要

・敷地面積／約13,000㎡ ・延床面積／約4,100㎡ ・店舗面積／約2,200㎡  
・駐車台数／約100台 ・駐輪台数／約60台

### ゆめモール筑後

平成27年11月27日  
OPEN!

### 日常性と利便性を兼ね備えた近隣型SC

筑後市は福岡県筑後平野の中央に位置し、古くから交通の要衝として栄えた都市で、今も人口や世帯数は増加中であり商圈としても有望なエリアです。

ゆめモール筑後の敷地内には、食品スーパーとして「ゆめマート筑後」をはじめ、書店やメガネ店、人気のカフェなど20店舗を集約。オープン型モールとして、近隣から多くのお客様を集めています。



店舗概要

・敷地面積／約24,500㎡ ・延床面積／約7,400㎡ ・店舗面積／約5,600㎡ ・駐車台数／約330台 ・駐輪台数／約220台

### ゆめタウン久留米

平成27年11月25日  
大規模増床!

増床概要

[増床前]・延床面積／約143,000㎡ ・店舗面積／約47,300㎡ ・専門店舗数／158店舗  
[増床後]・延床面積／約153,000㎡ ・店舗面積／約50,000㎡ ・専門店舗数／194店舗

### 新規テナント50店舗を加え 話題の専門店が大集合!

2003年オープンの「ゆめタウン久留米」は、久留米市新合川地区の中核商業施設として、周辺部からも数多くのお客様を集める人気店です。地域の皆さまからスケールアップへの期待の声も強くなり、大規模増床リニューアルを計画。このたび新規テナント50店舗を加え、地域に新しいトレンドやスタイルを提案・発信する店として新生「ゆめタウン久留米」がオープンしました。



### ゆめタウン筑紫野

平成28年3月25日  
リニューアル!

店舗概要

・敷地面積／約69,000㎡ ・延床面積／約89,000㎡ ・店舗面積／約31,000㎡ ・駐車台数／約2,500台 ・駐輪台数／約320台

### オープン20年を感謝し 8割の専門店を大規模リニューアル

「ゆめタウン筑紫野」は、1996年に福岡県筑紫野市にオープンして20年。地域の皆さまからのパワーアップへの期待の声を形にすべく、イズミ直営フロアと専門店の8割をリニューアルする大改装に着手し、このたび新生「ゆめタウン筑紫野」としてオープンしました。

リニューアル後は、食のステージ拡大やキッズゾーンの充実、ゆとりの空間が増えるなど、ご家族三世代が集い、楽しみ、つながるお店になりました。





## ゆめタウン徳山(仮称)

平成28年・秋  
OPEN 予定

### 周南市中心部に待望の大型商業施設の誕生!



周南市は、山口県南東部に位置し瀬戸内圏でも有数の工業都市で、山口県下第4の都市です。建設地は徳山市の中心部で旧国道2号線沿いにあり、周囲に大型商業施設もないことから、周南市域はもちろん下松・光工エリアなどからの広域集客が見込まれます。「ゆめタウン徳山(仮称)」では、「地域にないもの」「地域一番のもの」そして「ゆとりとくつろぎ」の機能を店内に集約。トレンドファッションや生活雑貨、レストラン、アミューズメントなど、約60の多彩な専門店とイズミとのコラボレーションで、三世代のライフニーズにあった商業施設を実現します。

店舗概要 ・敷地面積/約17,900㎡ ・延床面積/約44,200㎡ ・店舗面積/約14,600㎡ ・駐車台数/約900台 ・駐輪台数/135台

## ゆめタウン佐賀

平成28年・秋  
増床OPEN 予定

### 面積も、専門店数も、ゆめタウン史上最大店舗の誕生!

2006年に誕生した「ゆめタウン佐賀」は、佐賀市の中核商業施設として、地域の皆さまから大好評をいただいております。年々変化するお客さまニーズにさらにきめ細かく応えるために、このたびの大型増床となりました。

増床テーマは、食機能の充実、キッズエリアの拡大、快適空間の創造。フードコートの席数拡大や食品売場での品揃え拡充、キッズ向けの専門店の導入、さらには買い回りしやすい動線の確保やゆったりソファの増設などで、「とき」を消費していただける店内環境づくりを行い、今まで以上に三世代のお客さまにご満足いただける店舗を目指します。



増床概要

[増床前]・延床面積/約115,800㎡ ・店舗面積/約49,000㎡ ・専門店舗数/173店舗  
[増床後]・延床面積/約134,000㎡ ・店舗面積/約58,000㎡ ・専門店舗数/207店舗

## 毎日、行きたくなる。わざわざ行きたくなる。 広島西部SCプロジェクト「LECT(レクト)」

平成29年・春  
OPEN 予定



イズミからまた新しい業態のプロジェクトがスタートしました。  
“訪れるだけで心が豊かになり、楽しくなる”をコンセプトにした「LECT」。  
来年春の開業を目指して、広島西部SCプロジェクトがいよいよスタートしました。

“知・食・住”をテーマに  
蔦屋書店とカインズが出店!

本プロジェクトでは“知・食・住”をテーマに、従来型の商業施設にはない新しい暮らしのかたちを創造する複合型店舗をめざしています。  
レストランやフードコート、食品スーパーによる食のゾーンは「イズミ」が、知のゾーンは書籍や知的コンテンツで話題の「蔦屋書店」が中国地方初出店、住のゾーンは都会的な生活提案型の「カインズ」が広島初出店します。  
3つのゾーンをシームレスに結びつける動線計画により、回遊性の高い商業空間を実現します。



商圏人口83万人を吸引する  
絶好のアクセスと大駐車場!

予定地は広島市西部、近年商業集積が進む商工センター内で、近隣にはマンションや住宅地も多く、中心市街地からのアクセスも抜群です。広島南道路や西広島バイパスにも近く、魅力的な複合店舗と3,200台の大駐車場で商圏人口83万人を集客します。

店舗概要

・敷地面積/約54,800㎡ ・延床面積/約128,500㎡ ・店舗面積/約39,000㎡ ・駐車台数/約3,200台 ・駐輪台数/約450台  
・営業時間/6:00～24:00(予定)





## お客様の声を聞くプロジェクト始動。

イズミは、お客さま目線での店づくりをさらに加速させるために、このたび「お客様の声を聞く」プロジェクトが本格始動しました。各店舗に集まったお客さまの声を、毎週1回「お客様の声を聞く」プロジェクト会議で検討し、お客さま目線で即時対応を進めています。

お客様の声からうまれた、成果もぞくぞく！

### ■ 冷蔵ロッカーの導入

「時間を気にせず、  
ゆっくりとお買い物を楽しみたい」

こんな声に応じて、要冷蔵商品専用のコインロッカーを導入。滞留時間の長い大型店舗から順次、設置していく予定です。



### ■ 車いすと休憩用ソファの増設

「車いすが少なく、探し回っている」

こんな声に応じて、車いすとともに休憩用のソファの増設を決定。ご高齢のお客さまや車いすをご利用のファミリーにも、より快適にお買い物をしていただけるよう、きめ細かく対応していきます。



### ■ ペットボトル回収の拡大

「ペットボトルを回収して欲しい」

イズミではリサイクル運動に積極的に取り組んでいますが、こんな声を受けてあらためて調査すると、一部に回収ボックスのない店舗がありました。検討後すぐに中型以上の店舗全店で回収できるよう体制を整えました。



## 振り込め詐欺・還付金詐欺 防止へ声かけ。

昨年度、ゆめタウンやゆめマートの店内ATM前であわてている様子の高齢のお客さまへ「何かお困りですか？」と声をかけ、振り込め詐欺や還付金詐欺の送金を未然に防ぐケースが相次ぎました。

その背景にあるのは、イズミが全店でこれまで取り組んできたお客さまへの目配りや気配りへの姿勢が、犯罪からお客さまを守る行動につながったのでしょう。これからも店舗スタッフやテナントの皆さまと協力して、店内での声かけを続けて参ります。



東広島警察署



宇城警察署



浜田警察署

振り込め詐欺・還付金詐欺防止協力により、各地の警察から感謝状が贈られました。

## いつでも申込みできる「研修受講申請システム」を導入。

社員の能力開発への取り組みとして、社内LANシステムの中に新たに「研修受講申請システム」を導入しました。

これは業務多忙などの原因で、研修プログラムを見逃したり、申請期間が過ぎてしまうことを防ぐためのシステムで、これによりネットでの研修の検索や受講履歴の確認が常時可能になります。また上司と情報共有が簡易になることで、職場の活性化やコミュニケーション向上にも役立つものとして期待されています。



## パートタイム労働者活用推進企業「優良賞」受賞。

昨年12月17日、厚生労働省主催によるパートタイム労働者の活躍を推進している企業を表彰する制度で、「パートタイム労働者活用推進企業」として「優良賞(雇用均等・児童家庭局長優良賞)」を受賞しました。

パートタイム労働者への正社員水準の待遇と役職を目指せる制度や、透明性の高いキャリアアップの仕組み、研修制度、提案活動などが高く評価されたものです。





イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。  
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

## 中国四国の小売2社がグループ会社に

株式会社イズミと株式会社ユアーズ(広島県)は資本業務提携を締結し、2015年10月グループ会社となりました。2015年11月には、株式会社デイリーマート(徳島県)がイズミグループの仲間に。各地でお客様に親しまれてきた優れた取り組みを継続しながら、イズミのノウハウを活用して店舗の活性化を行い、力を合わせてさらなる成長を目指していきます。



ユアーズが運営する高品質食材専門店「アバンセ古江店」



高齢者に優しい店づくりを進めるデイリーマート

## Y T 2016年4月より、指定管理者として新たにスポーツ施設2件の管理運営を獲得

### 株式会社 イズミテクノ

(株)イズミテクノは指定管理者として現在7物件を管理運営し、安全・安心・清潔な公共施設の管理運営とともに地域の賑わい創出に取り組んでいます。

- 広島県びんご運動公園(新規物件)
- 東広島運動公園(新規物件)
- 広島県立美術館
- 広島県縮景園
- 県民文化センター(広島県)
- 安佐北区民文化センター(広島市)
- やつしろハーモニーホール(八代市)



びんご運動公園



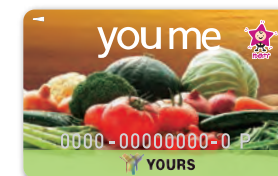
東広島運動公園

## 新しいグループ店舗に「ゆめか」が拡がりました。 累計発行枚数は550万を突破!



### 株式会社 ゆめカード

2015年度は、新しいグループ店舗であるユアーズ、デイリーマートにおいて電子マネー「ゆめか」を導入するなど、グループ全体でゆめかの浸透を図ってまいりました。累計発行枚数は、2016年2月末時点で550万枚を突破いたしました。  
また、広島県の事業からスタートした地域電子マネー「HIROCA(ヒロカ)」に初めて「ゆめかIC」を搭載し、地域に新たなお客様を増やすことができました。  
今後も、ゆめかを通してグループ貢献と地域の発展に取り組んでまいります。



## ゆめタウン筑紫野フードコートに4店舗が移設・改装オープン!

### イズミ・フード・サービス 株式会社

2016年3月25日ゆめタウン筑紫野のリニューアルされたフードコートに、サーティワンアイスクリーム、ミスタードーナツ、OKONOMI ICHIBANCHI、大阪王将の4店舗が移設オープンいたしました。  
ミスタードーナツは、フードコートタイプでは全国で2店舗目となる「V21型」と呼ばれる最新型の店舗に生まれ変わりました。いずれの店舗も前年を大幅に上回る好調な業績で推移し、多くのお客様のご支持をいただいております。



サーティワンアイスクリーム



ミスタードーナツ



OKONOMI ICHIBANCHI



大阪王将

## 業績ハイライト

営業収益	6,687 億円	前年同期比 115.4%
------	----------	-----------------

経常利益	311.0 億円	前年同期比 104.5%
------	----------	-----------------

当期純利益	187.6 億円	前年同期比 108.1%
-------	----------	-----------------

### 連結決算の推移

単位:百万円

	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期	平成29年2月期計画
営業収益	535,510	556,852	579,739	668,784	726,400
前期比	103.8%	104.0%	104.1%	115.4%	108.6%
営業利益	27,949	29,100	30,330	31,912	34,700
前期比	115.2%	104.1%	104.2%	105.2%	108.7%
経常利益	27,102	28,446	29,767	31,102	33,800
前期比	115.1%	105.0%	104.6%	104.5%	108.7%
当期純利益	16,187	17,384	17,360	18,766	21,100
前期比	146.3%	107.4%	99.9%	108.1%	112.4%
総資産	379,824	397,071	432,416	468,026	—
純資産	126,139	130,178	145,709	157,851	—
1株当たり利益	207.01円	236.55円	241.60円	261.96円	294.45円
1株当たり純資産	1,541.32円	1,672.92円	1,876.22円	2,060.44円	—

### 単体決算の推移

単位:百万円

	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期	平成29年2月期計画
営業収益	514,105	535,492	557,074	609,032	671,800
前期比	104.0%	104.2%	104.0%	109.3%	110.3%
営業利益	23,431	24,785	25,899	28,212	29,500
前期比	117.5%	105.8%	104.5%	108.9%	104.6%
経常利益	22,448	23,941	25,058	27,355	28,600
前期比	117.6%	106.7%	104.7%	109.2%	104.6%
当期純利益	12,508	15,549	14,761	17,811	18,400
前期比	139.5%	124.3%	94.9%	120.7%	103.3%
総資産	324,183	337,700	360,536	371,093	—
純資産	95,766	98,684	110,950	123,302	—
1株当たり配当金	38.00円	43.00円	51.00円	64.00円	66.00円

## 連結財務諸表

### [連結]貸借対照表

単位:百万円

	前期 H27.2.28	当期 H28.2.29		前期 H27.2.28	当期 H28.2.29
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	82,692	88,708	流動負債	134,096	147,963
現金及び預金	13,380	13,844	支払手形及び買掛金	40,564	33,479
受取手形及び売掛金	28,540	31,387	短期借入金	20,387	50,704
商品及び製品	24,517	26,597	1年内返済予定の長期借入金	25,888	23,320
仕掛品	85	114	未払金	22,080	15,789
原材料及び貯蔵品	383	437	未払法人税等	6,987	7,144
繰延税金資産	2,687	2,561	賞与引当金	1,491	1,753
その他	13,726	14,356	役員賞与引当金	37	38
貸倒引当金	△ 627	△ 590	ポイント引当金	2,017	2,302
固定資産	349,723	379,318	商品券回収損失引当金	81	111
有形固定資産	304,162	325,308	事業整理損失引当金	—	433
建物及び構築物	315,239	358,775	資産除去債務	—	21
減価償却累計額	△178,561	△203,231	その他	14,560	12,863
建物及び構築物(純額)	136,677	155,544	固定負債	152,610	162,211
機械装置及び運搬具	6,623	7,332	長期借入金	110,876	118,616
減価償却累計額	△ 4,867	△5,228	リース債務	615	255
機械装置及び運搬具(純額)	1,755	2,104	長期預り敷金保証金	23,119	24,044
土地	147,469	156,890	役員退職慰労引当金	1,405	1,435
リース資産	1,331	902	利息返還損失引当金	273	230
減価償却累計額	△ 638	△636	退職給付に係る負債	8,193	7,308
リース資産(純額)	693	265	繰延税金負債	1,082	2,272
建設仮勘定	10,617	2,256	資産除去債務	6,723	7,445
その他	34,835	41,188	その他	321	603
減価償却累計額	△ 27,886	△32,940	負債合計	286,706	310,175
その他(純額)	6,949	8,247	(純資産の部)		
無形固定資産	7,985	16,075	株主資本	133,416	147,493
のれん	554	7,236	資本金	19,613	19,613
その他	7,430	8,839	資本剰余金	22,282	22,577
投資その他の資産	37,575	37,934	利益剰余金	108,283	123,785
投資有価証券	8,563	6,800	自己株式	△16,763	△18,483
長期貸付金	1,480	1,483	その他の包括利益累計額	1,402	155
繰延税金資産	5,285	5,444	その他有価証券評価差額金	1,785	793
敷金及び保証金	17,477	19,672	退職給付に係る調整累計額	△ 383	△ 638
その他	5,165	4,944	少数株主持分	10,890	10,203
貸倒引当金	△ 395	△ 411	純資産合計	145,709	157,851
資産合計	432,416	468,026	負債・純資産合計	432,416	468,026

資産	4,680 億円
	前期末比 ▶ 356億円増加

・当期の設備投資額は21,435百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。また、新規連結子会社の増加等により、有形固定資産は、減価償却実施後で21,146百万円増加しました。  
 ・無形固定資産は、新規連結子会社化に伴うのれんの計上等により8,090百万円増加しました。  
 ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により、2,847百万円増加しました。

負債	3,101 億円
	前期末比 ▶ 234億円増加

・支払手形及び買掛金は、前期末日が銀行休業日であったため、決済が翌月初に持ち越されたこと等により7,085百万円減少しました。  
 ・短期借入金及び長期借入金は、35,489百万円増加しました。

純資産	1,578 億円
	前期末比 ▶ 121億円増加

・利益剰余金は、配当金の支払により減少したものの、内部留保額の上積み等により15,501百万円増加しました。  
 ・自己株式は、期中に373千株取得(買取請求分を含む)しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて1,720百万円増加しました。  
 ・これらの結果、自己資本比率は31.5%となり、前期末の31.2%に比べて0.3ポイント上昇しました。



## 連結財務諸表

### [連結] 損益計算書

単位:百万円

	前 期 H26.3.1~H27.2.28	当 期 H27.3.1~H28.2.29
<b>営業収益</b>	<b>579,739</b>	<b>1</b> → <b>668,784</b>
売上高	552,746	638,754
売上原価	435,815	501,346
売上総利益	116,930	137,408
営業収入	26,992	30,029
営業総利益	143,923	167,438
販売費及び一般管理費	113,592	135,525
<b>営業利益</b>	<b>30,330</b>	<b>31,912</b>
営業外収益	1,473	1,431
受取利息	147	157
受取配当金	102	78
仕入割引	307	325
債務勘定整理益	92	100
持分法による投資利益	244	28
違約金収入	87	85
その他	491	656
営業外費用	2,036	2,242
支払利息	1,614	1,587
支払補償費	113	365
その他	308	288
<b>経常利益</b>	<b>29,767</b>	<b>2</b> → <b>31,102</b>
特別利益	37	1,446
固定資産売却益	5	17
投資有価証券売却益	0	1,009
負ののれん発生益	31	18
補助金収入	—	369
その他	—	31
特別損失	1,292	2,164
固定資産売却損	71	45
固定資産除却損	323	336
減損損失	464	865
子会社株式売却損	315	—
段階取得に係る差損	94	—
事業整理損失引当金繰入額	—	433
その他	23	483
税金等調整前当期純利益	28,511	30,384
法人税、住民税及び事業税	11,181	11,935
法人税等調整額	△ 238	68
法人税等合計	10,943	12,004
少数株主損益調整前当期純利益	17,568	18,379
少数株主利益又は少数株主損失(△)	207	△ 386
<b>当期純利益</b>	<b>17,360</b>	<b>3</b> → <b>18,766</b>

**1 営業収益 6,687億円** 前期比 ▶ 115.4%

営業収益のうち、売上高は前期比86,008百万円(15.6%)増加し、638,754百万円となりました。また、営業収入は前期比3,037百万円(11.3%)増加し、30,029百万円となりました。これは、主に当社における堅調な既存店販売、新店舗による販売増に加え、新規連結子会社の「スーパー大栄」及び「ユアーズ」などが寄与したことによるものです。売上総利益は、137,408百万円(前期比20,477百万円の増加)となりました。売上高対比では21.5%となり前期に比べて0.3ポイント上昇しました。

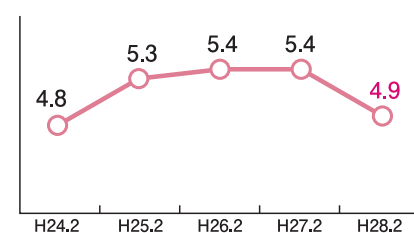
**2 経常利益 311.0億円** 前期比 ▶ 104.5%

営業外収益は、「スーパー大栄」を持分法適用会社より連結子会社としたことで、持分法による投資利益が減少し、前期比41百万円減少の1,431百万円となりました。一方、営業外費用は前期比205百万円増加の2,242百万円となりました。これらの結果、経常利益は前期比1,335百万円(4.5%)増加の31,102百万円となり、売上高対比は4.9%と前期に比べて0.5ポイント低下しました。

**3 当期純利益 187.6億円** 前期比 ▶ 108.1%

当期純利益は前期比1,405百万円(8.1%)増加の18,766百万円となりました。売上高対比は2.9%と前期に比べて0.2ポイント低下しました。また、1株当たり当期純利益は261.96円(前期比20.36円の増加)となり、当期末の1株当たり純資産は2,060.44円(前期末比184.22円の増加)となりました。

■ 経常利益率の推移 (単位:%)



### [連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前 期 H26.3.1~H27.2.29	当 期 H27.3.1~H28.2.29
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	28,511	30,384
減価償却費	12,902	15,044
減損損失	464	865
固定資産除却損	323	336
負ののれん発生益	△ 31	△ 18
売上債権の増減額	△ 3,024	△ 2,663
法人税等の支払額	△ 9,551	△ 11,741
補助金の受取額	—	369
その他	22,653	△ 19,022
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>52,246</b>	<b>13,553</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△ 18,699	△ 25,914
無形固定資産の取得による支出	△ 943	△ 2,143
その他	△ 1,254	1,986
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 20,897</b>	<b>△ 26,071</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長短借入金の増減	△ 21,685	19,691
自己株式の取得による支出	△ 2	△ 2,169
配当金の支払額	△ 3,333	△ 4,228
その他	△ 137	△ 336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 25,159</b>	<b>12,956</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,189	439
現金及び現金同等物の期首残高	6,800	12,990
現金及び現金同等物の期末残高	12,990	13,429

### [連結] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合 計			
当期首残高	19,613	22,282	108,283	△ 16,763	133,416	1,402	10,890	145,709
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	963	—	963	—	—	963
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,613	22,282	109,246	△ 16,763	134,379	1,402	10,890	146,672
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△ 4,228	—	△ 4,228	—	—	△ 4,228
当期純利益	—	—	18,766	—	18,766	—	—	18,766
自己株式の取得	—	—	—	△ 2,169	△ 2,169	—	—	△ 2,169
自己株式の処分	—	295	—	449	745	—	—	745
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 1,246	△ 687	△ 1,934
連結会計年度中の変動額合計	—	295	14,538	△ 1,720	13,113	△ 1,246	△ 687	11,179
当期末残高	19,613	22,577	123,785	△ 18,483	147,493	155	10,203	157,851

**営業活動によるキャッシュ・フロー 135億円の収入**

・主な収入項目は、税金等調整前当期純利益30,384百万円、減価償却費15,044百万円です。  
 ・主な支出項目は、法人税等の支払額11,741百万円、仕入債務の減少額12,995百万円及び売上債権の増加額2,663百万円です。  
 ・前期と比較すると38,692百万円減少しました。これは主に期末日の曜日の影響により、債権債務が変動したことによるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー 260億円の支出**

・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出25,914百万円です。これは主に、当期の店舗新設等です。  
 ・主な収入項目は、投資有価証券の売却による収入2,427百万円です。

**財務活動によるキャッシュ・フロー 129億円の収入**

・主な収入項目は、短期借入金の純増減額28,236百万円、長期借入れによる収入31,252百万円です。  
 ・主な支出項目は、長期借入金の返済による支出39,797百万円、自己株式の取得による支出2,169百万円及び配当金の支払額4,228百万円です。



## 単体財務諸表

### [単体] 貸借対照表

単位:百万円

	前期 H27.2.28	当期 H28.2.29		前期 H27.2.28	当期 H28.2.29
(資産の部)			(負債の部)		
<b>流動資産</b>	<b>49,120</b>	<b>47,795</b>	<b>流動負債</b>	<b>116,785</b>	<b>109,630</b>
現金及び預金	7,713	4,985	買掛金	34,350	24,436
売掛金	7,986	8,651	短期借入金	16,132	32,042
商品	21,977	22,880	1年内返済予定の長期借入金	24,998	22,135
原材料及び貯蔵品	254	245	リース債務	37	13
前払費用	623	722	未払金	21,834	14,784
繰延税金資産	2,198	2,176	未払費用	1,596	1,670
短期貸付金	4,564	4,301	未払法人税等	5,996	5,930
預け金	1,711	1,609	未払消費税等	3,137	35
その他	2,191	2,302	前受金	1,379	1,521
貸倒引当金	△ 101	△ 79	預り金	1,336	1,454
<b>固定資産</b>	<b>311,416</b>	<b>323,298</b>	賞与引当金	1,248	1,299
有形固定資産	264,598	272,556	役員賞与引当金	1	2
建物	116,283	131,936	ポイント引当金	1,993	2,163
構築物	5,642	5,872	商品券回収損失引当金	81	111
機械及び装置	1,533	1,742	その他	2,660	2,026
車両運搬具	2	0	<b>固定負債</b>	<b>132,800</b>	<b>138,160</b>
工具、器具及び備品	4,770	5,188	長期借入金	96,505	101,720
土地	125,342	125,544	リース債務	448	16
リース資産	451	27	長期預り敷金	19,932	21,309
建設仮勘定	10,572	2,243	長期預り保証金	1,685	1,694
無形固定資産	6,106	7,124	退職給付引当金	6,160	5,131
借地権	4,113	4,148	役員退職慰労引当金	1,235	1,314
ソフトウェア	1,148	1,352	資産除去債務	6,604	6,780
その他	844	1,623	その他	228	193
投資その他の資産	40,711	43,617	<b>負債合計</b>	<b>249,585</b>	<b>247,790</b>
投資有価証券	4,403	2,377			
関係会社株式	4,684	11,058			
出資金	4	4			
関係会社出資金	828	866			
長期貸付金	1,480	1,479	<b>株主資本</b>	<b>109,551</b>	<b>122,672</b>
長期前払費用	873	782	資本金	19,613	19,613
繰延税金資産	4,384	4,168	資本剰余金	22,282	22,577
出店仮勘定	189	159	利益剰余金	84,415	98,961
差入敷金及び保証金	21,234	20,239	自己株式	△16,760	△18,480
その他	2,938	2,785	評価・換算差額等	1,399	630
貸倒引当金	△ 310	△ 303	<b>純資産合計</b>	<b>110,950</b>	<b>123,302</b>
<b>資産合計</b>	<b>360,536</b>	<b>371,093</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>360,536</b>	<b>371,093</b>

### 新規出店と閉店

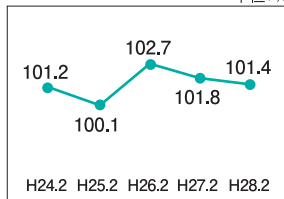
期末店舗数	103 店舗
新設	4 店舗
閉店	4 店舗

### 既存店売上高前年比

既存店売上高前年比	101.4%
客数前年比	99.4%
客単価前年比	102.7%

### 既存店売上高前年比

単位:%



### [単体] 損益計算書

単位:百万円

	前期 H26.3.1~H27.2.28	当期 H27.3.1~H28.2.29
<b>営業収益</b>	<b>557,074</b>	<b>609,032</b>
売上高	530,507	580,576
売上原価	426,219	469,617
売上総利益	104,288	110,959
営業収入	26,566	28,455
営業総利益	130,855	139,414
販売費及び一般管理費	104,955	111,201
<b>営業利益</b>	<b>25,899</b>	<b>28,212</b>
営業外収益	1,114	1,167
受取利息及び配当金	266	238
仕入割引	307	324
債務勘定整理益	92	100
その他	448	503
営業外費用	1,955	2,024
支払利息	1,628	1,491
その他	326	533
<b>経常利益</b>	<b>25,058</b>	<b>27,355</b>
特別利益	2	1,175
固定資産売却益	2	13
投資有価証券売却益	-	604
補助金収入	-	369
抱合せ株式消滅差益	-	188
特別損失	743	565
固定資産売却損	41	44
固定資産除却損	263	183
減損損失	438	282
その他	-	54
税引前当期純利益	24,318	27,964
法人税等	9,556	10,153
<b>当期純利益</b>	<b>14,761</b>	<b>17,811</b>

### [単体] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計		
当期首残高	19,613	22,282	84,415	△ 16,760	109,551	1,399	110,950
会計方針の変更による累積的影響額			963		963		963
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,613	22,282	85,378	△ 16,760	110,514	1,399	111,913
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 4,228		△ 4,228		△ 4,228
当期純利益			17,811		17,811		17,811
自己株式の取得				△ 2,169	△ 2,169		△ 2,169
自己株式の処分		295		449	745		745
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△ 769	△ 769
事業年度中の変動額合計	-	295	13,582	△ 1,720	12,158	△ 769	11,388
当期末残高	19,613	22,577	98,961	△ 18,480	122,672	630	123,302

### 営業収益

6,090 億円 前期比 109.3%

### 経常利益

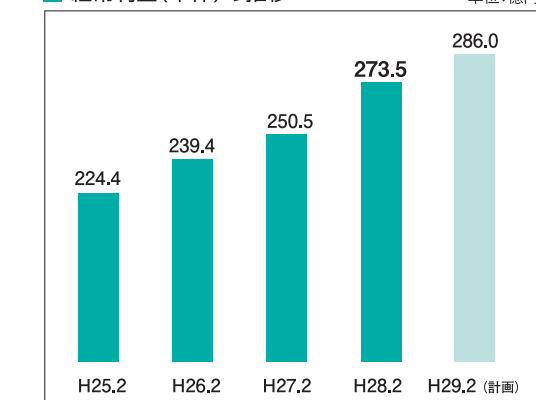
273.5 億円 前期比 109.2%

### 当期純利益

178.1 億円 前期比 120.7%

### 経常利益(単体)の推移

単位:億円



■ 会社概要

(平成28年2月29日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日  
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号  
 TEL 082-264-3211(代)  
 資本金 19,613,856,196円  
 従業員 正社員 2,339名  
 パートタイマー 5,031名(1日8時間換算)  
 店舗数 103店舗(エクセル単独店舗9店舗含む)

■ 中国地方 61店

広島県 34店 岡山県 10店  
 山口県 11店 島根県 6店

■ 九州地方 32店

福岡県 16店 佐賀県 3店  
 大分県 2店 長崎県 2店  
 熊本県 9店

■ その他 10店

香川県 3店 兵庫県 2店  
 徳島県 1店 その他 4店

■ 役員一覧

(平成28年2月29日現在)

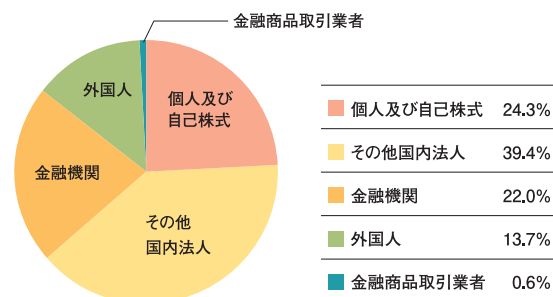
取締役会長 山西 義政  
 代表取締役社長 山西 泰明  
 専務取締役 梶原 雄一朗  
 専務取締役 三家本 達也  
 取締役 中村 豊三  
 取締役 相田 美砂子  
 取締役 米田 邦彦  
 常勤監査役 川本 邦昭  
 監査役 松原 治郎  
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(平成28年2月29日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株  
 発行済株式の総数 78,861,920株  
 株主数 4,734名  
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



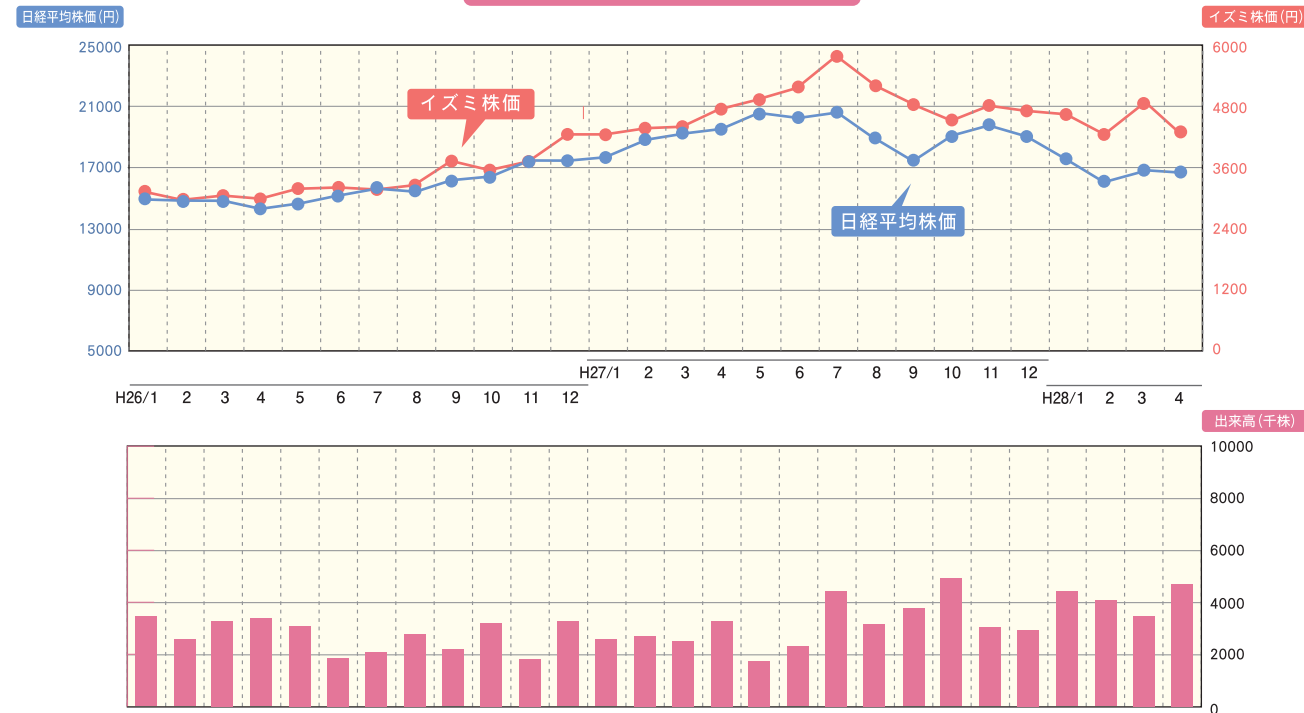
■ 大株主の状況

(平成28年2月29日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.8%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,688千株	3.8%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
イズミ広島共栄会	2,150千株	3.0%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
山西 泰明	2,035千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
全国共済農業協同組合連合会	1,475千株	2.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,350千株	1.9%

(注)持株比率は、自己株式(7,200,428株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	10枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	15枚 (3,000円相当)	
300株以上	20枚 (4,000円相当)	
400株以上	25枚 (5,000円相当)	
500株以上	30枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	50枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	250枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	300枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	400枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	500枚 (100,000円相当)	

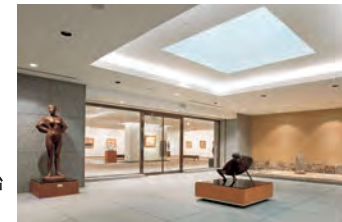
※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成28年2月29日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

公益財団法人 **泉美術館**



■ 開館時間  
 午前10時から午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)


■ 休館日  
 月曜日(祝祭日は開館)、年末年始  
 ※展示替えによる臨時休館あり

■ 住所  
 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階  
 TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>



## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] <sup>(※)</sup>	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] <sup>(※)</sup>	 0120-782-031

(※)平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。